

## 42 ヨハネ 13 章 12-20 節

※先回はイエス様が弟子たちの足を洗う「洗足」の箇所でした。イエス様が腰に手ぬぐいを巻き、たらいに水を入れ、一人一人弟子たちの足を洗い、拭く姿をあらためてイメージしてみましょ。ペテロの番に来た時、彼は「決して私の足を洗わないでください」と言い、それなら「あなたはわたしと関係ない事になります」と言われると、慌てて「手も頭も洗ってください」などと言うのでした。さて、今日の箇所はその後イエス様が語られた所となります。

1、「内容観察」この箇所を自分の言葉で表現してみましょ。どんなことが記されてありますか？

2、イエス様は上着を着て席につき「わたしがあなたがたに何をしたのか分かりますか」と聞かれました。つまり、「互いに足を洗い合う」ということにもそのままの行いでなく、何かの意味があるということが分かります。何を教えているのでしょうか？

- ・その前に (7-10) を読んで、「足を洗う」ことが私たちとどう関係しているか必要性を考えてみましょ。  
私たちはイエス様の十字架の血潮とよみがえりを信じる信仰によって…ここで言う「水浴した者」「全身が聖い」者とされたと言えます。では「洗わなければならない足」とは？

・(15) イエス様は『あなたがたに模範を示した』と言われていています。確かにこの「洗足」も模範ですが、他にどのような模範を私たちに示されたのでしょうか？… (参考 ピリピ 2:1-12)

- ・さあ、「あなた方も互いに足を洗い合いなさい」とはどういうことでしょうか？

3、(16-20) では「幸いな人」となる秘訣が教えられています。

- ・(16 節) あなたから見て「しもべ」「主人」「遣わされた者」「遣わした者」とは誰だと言えますか？

※「幸いな人」(17) となるべく私たちがわきまえ、心しておかなければならない教えは？

(マタイ 10:24.25)

・(18) 弟子の裏切りの預言について語っておられます。(19) そのことが現実となったら、イエス様が先のことみな分かっておられ、イエス様の言った通りになったと確信するようになる。ということで、イエス様が「わたしはある」であると信じるようになると教えています。それは何？ (出エジプト 3:14)

※イエス様をそう信じる人は幸いを見、体験することが出来るでしょう。

- ・(20) 一つ一つ立場を考え、この教えの結論を出してみましょ。

まず、ここで言う「わたし」は？…

「わたしが遣わす者」… 「受け入れる者」… 「わたしを受け入れるのです」…

「わたしを受け入れる者は、わたしを遣わされた方を受け入れるのです」…

〈結論〉

※これも幸いな人となる秘訣ですね。